

体験学習ファシリテーション〈ベーシック〉第6回

体験学習のファシリテーションの基礎を学びたい人のために

【ファシリテーター・トレーニング】

担当者	中尾 陽子（南山大学経営学部 准教授） 大塚 弥生（南山大学教職センター 准教授）
概要	<p>参加者が、「ラボラトリー方式の体験学習」の実施者（ファシリテーター）の役割を交互にしながら、体験学習プログラムを進行していき、学習者の学びを促進していくための基礎を学ぶための講座です。</p> <p>学校の教師、研修講師、人材開発担当者などの方で、教育の場面で、体験学習や参加型教育を用いている方、体験学習のファシリテーションの基礎を学びたい方に最適な講座です。</p> <p>当センターが実施する類似の講座として「体験学習ファシリテーション〈アドバンス〉（旧「アドバンス体験学習」）」があります。「体験学習ファシリテーション〈ベーシック〉」が基礎編、「体験学習ファシリテーション〈アドバンス〉」が応用編となります。「体験学習ファシリテーション〈ベーシック〉」では、既存の実習を用いて体験学習プログラムを設計し、実施するファシリテーターの力を養います。「体験学習ファシリテーション〈アドバンス〉」では、体験学習プログラムを独自に作成して実施するため、体験学習の設計についても深く学ぶことができます。</p> <p>「体験学習ファシリテーション〈アドバンス〉」に参加される方は、その学びの前段階としてファシリテーションの基礎を学ぶために、本講座（体験学習ファシリテーション〈ベーシック〉）に参加されることをお勧めします。</p> <p>「体験学習ファシリテーション〈ベーシック〉」では以下の内容を扱っていきます。</p> <ul style="list-style-type: none">・体験学習プログラムを進める際の留意点について・ねらいの設定と実習の選択について・各フェーズでの進め方について（導入、課題の実施、ふりかえり、全体でのふりかえり）・参加者が3つのグループに分かれて、各グループで体験学習プログラムの準備を行う・ファシリテーター・グループが体験学習プログラム（100分間）を実施する →他のグループのメンバーは学習者になる ファシリテーター・グループにフィードバックを行う・体験学習のファシリテーションについての小講義
日程	2023年 8月26日（土）、27日（日）、9月9日（土）、10日（日） 10：00～18：00 ※最終日は9：00～18：00
定員	16名
会場	南山大学 D棟 D51教室
参加資格	当センターの人間関係講座または人間関係トレーニング(Tグループ)を修了された方、またはそれに準ずる経験をお持ちの方(不明の場合はお問合せください)
受講料	43,070円〈税込〉
メルマガ講座報告	<p style="text-align: right;">担当講師 中尾 陽子 記</p> <p>2023年8月26・27日、9月9・10日、南山大学にて体験学習ファシリテーション・ベーシックを開催しました。前回2021年は、コロナの影響でオンライン開催となったこの講座。今回は、対面で開催することができました！様々なバックグラウンドをお持ちの13名の方々が日本各地からお集まりくださり、スタッフは大塚・中尾、事務局 藤田（昔々、南山短大人間関係科でラボラトリー方式の体験学習漬けの2年間を送った3人です♪）の16名で過ごした4日間でした。</p> <p>この講座では、</p> <ul style="list-style-type: none">・ラボラトリー方式の体験学習について理解を深める。・ラボラトリー方式の体験学習の場をつくり、実施していくファシリテーションの基礎的な力を養う。・体験学習プログラムをチームで設計する際に起こるプロセスから学ぶ。 <p>という3つのねらいに取り組みました。</p> <p>すでにラボラトリー方式の体験学習を体験し、ファシリテーションへの関心も高い方々だけに、4日間に生まれたプロセスは、それはそれは豊かなものでした。私たちスタッフもこの学びの場をご一緒しながら、自分自身の体験を様々なふりかえり、気づいたことをお互い言葉にしながら、参加者の方々と共に考え、学び合う時間を過ごしていました。</p> <p>本当に楽しく、意味深い時間をありがとうございました。</p> <p>ご参加くださったみなさま、その後、いかがお過ごしでしょうか？現場に戻ってみると、あの4日間の体験をこの場に繋げるのは難しい...と感じていらっしゃるかもしれませんね。実は、私もそんな感覚です。でも、ラボラトリー方式の体験学習で大切なことの一つは、学びのサイクルを回し続けることです。今ここで感じる難しさから、無理だ～と思ってしまっはもったいない！ちょっとした変化を日々積み重ねていくうちに、気がついたらいつの間にか大きな変化が生まれているのがラボラトリー方式の体験学習です。</p> <p>短期的に急激な変化を求められる今の社会には、全くもってそぐわない学び方であり、考え方もかもしれません。でもそんな今の社会だからこそ、一人ひとりの人を大切にしながら生きることにつながる営みだと思っています。それぞれが過ごす場でちょっとずつ試み続けて、次にお会いする時、お互いにどのような体験をしてきたのかゆっくり語り合いたいですね。またお会いできますこと、心より楽しみにしています！（中尾陽子）</p>